



▲地域社会の将来像のイメージ(提案)

「阿蘇」での世界文化遺産登録への取組みにおいては、（一部を除き）単にいくつかの「文化財」を保護しようとしているではありません。「阿蘇」で守つていこうとしているのは、地域の人々の「なりわい」によって育まれている「草原」や「田園景観」、「まちなみ」等に代表される阿蘇全域の「景観」です。これを「文化的景観」といいます。これらは、規制をかけるだけでは守ることはできません。逆に、今まで行われてきた「なりわい」を続けることによってこそ守られます。そのため、地域の方々には現在の生活・生業を続けて頂き、行政はそれをお手伝いすることによって「阿蘇」の景観を守っていきたいと考えています。（これは、世界遺産の中でも新しい保護の考え方です。）

世界文化遺産登録に向けて

No. 6

阿蘇世界文化遺産推進室

阿蘇世界文化遺産推進室のホームページを開設しました。

アドレス <http://www.asosekaibunkaisan.com/>

前回まで、阿蘇の世界文化遺産登録への取組みについて紹介してきましたが、今回は最終回として、登録を目指すにあたって地域の将来像を提案してみたいと思います。

世界文化遺産への挑戦と地域の将来像について

「何を守るのか」

「何をめざすのか」 ～地域の将来像について～

前回まで、阿蘇の世界文化遺産登録への取組みについて紹介してきましたが、今回は最終回として、登録を目指すにあたって地域の将来像を提案してみたいと思います。

「阿蘇」での世界文化遺産登録への取組みにおいては、（一部を除き）単にいくつかの「文化財」を保護しようとしているではありません。「阿蘇」で守つていこうとしているのは、地域の人々の「なりわい」によって育まれている「草原」や「田園景観」、「まちなみ」等に代表される阿蘇全域の「景観」です。これを「文化的景観」といいます。これらは、規制をかけるだけでは守ることはできません。逆に、今まで行われてきた「なりわい」を続けることによってこそ守られます。そのため、地域の方々には現在の生活・生業を続けて頂き、行政はそれをお手伝いすることによって「阿蘇」の景観を守っていきたいと考えています。（これは、世界遺産の中でも新しい保護の考え方です。）

なお、世界文化遺産への挑戦では、登録された場合にだけ利点がある訳ではありません。「登録」や「景観の保護」を目標としながらも、その過程で地域が元気になることに意義があります。

この取組みにおいては、日常的な生業や地域の取組みが生かされ、「地域力」が増すことにより（上図）、子供達が住み続けたい「阿蘇」ができることがあります。

この取組みにおいては、日常的な

生業や地域の取組みが生かされ、「地域力」が増すことにより（上図）、子供達が住み続けたい「阿蘇」ができることがあります。

江藤建設(有) TEL.34-0616

エコワインハウス_阿蘇

検索

住宅だってお試しができる!!

「ハイブリッドエコワインハウス」 5年間の展示
場所はカドリー・ドミニオン 北側 (国道57号線沿)

服を選ぶ時は試着・車だったら試乗。だから人生最大の買物もお試しが必要でしょう！

体験会議は無料、体験宿泊は1名様 ¥300 (シーツ代のみ)

大手ハウスメーカーと同等仕様 (次世代省エネ住宅・高気密・高断熱・外張り断熱・夏涼しく冬暖かい建物内温度差3°C以内・風の通る家・ホテル並の空調環境等) おまけに農林水産大臣賞受賞の家